

高梁市議会だより

第55号
2023年8月



方谷学舎高等学校

農業者や市民への物価高騰対策
補正予算を審議

建築費が高騰中 良い公共施設を建てるには？

高梁市では現在、新消防庁舎、高梁認定こども園（仮称）、有漢学園（義務教育学校）という3つの大型プロジェクトが進行しています。

これまでの経過

令和5年第1回3月定例会において、大型プロジェクト事業を含む当初予算が賛成多数で可決しました。しかし、審査を所管する総務文教委員会では、大型プロジェクトについて事業費の圧縮が図られるように附帯決議を全員一致で可決しました。（高梁市議会だより第54号に掲載）

議会全員協議会で経過報告

5月23日には議会全員協議会で、3月定例会以降の大型プロジェクトの設計見直しと進捗状況が、消防本部、教育委員会から報告されました。総合的にみると3施設と

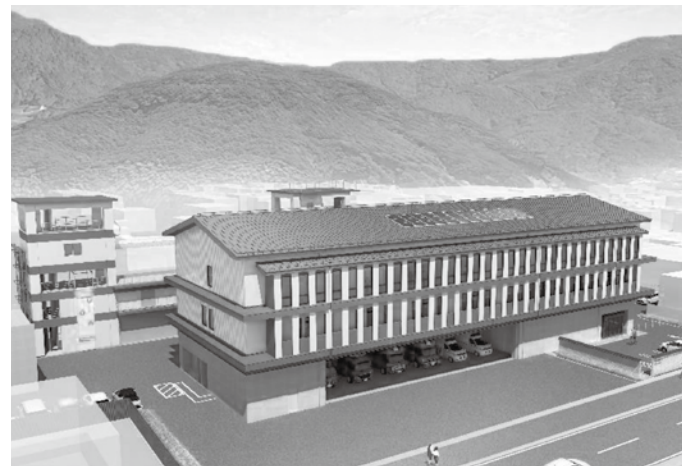
も抜本的な予算削減にはなっていない。いずれにしても当初計画されていた大型プロジェクトの建築工事費36億円が74億円に膨れ上がっているのです。原材料費・労務単価が値上がりのほかにも要因があるとはいえ、2倍に膨れ上がっています。

2025年開幕予定の大阪万博ではパビリオン建設の入札が思うようにできていない現状があります。「日本館」の建設工事について予定価格の応札がなく、入札が不落となつています。日本全国でこういった入札不落・不調が発生しています。

現在計画されている3施設は、いずれも高梁市に必須なものではありませんが、厳しい財政状況の中でいかに将来の負担を少なくしていくか、引き続き議論していきます。

新消防庁舎

令和4年7月25日議会全員協議会で説明された工事費概算書では約16億9900万円でした。これ以後全国的な建築資材高騰によって、令和5年2月の「令和5年度予算・補足説明資料」では工事費約29億1300万円、備品購入費約1億153万円、事務費約3092万円、合計約30億9200万円となっています。施設設計は、以下の点を含め当初の予定から見直しが行われています。



主な変更点

- 1 消防ホース洗浄スペースの拡大
- 2 来客者用駐車場を1台分減らし、視認性と安全性を確保
- 3 各階施設レイアウトの軽微な変更
- 4 敷地周囲全体への植栽（オタフクナンテン）を予定していたが、管理が困難との理由で正面のみに変更

当初（令和2年2月）の予定金額：

約13億円

現状での建築工事費（維持費）：

29億1,300万円

高梁認定こども園(仮称)

建設費を圧縮するために、特徴的な施設だった建物2階から築山つぎやまへのスロープを取りやめ、また、延べ床面積の縮小や建築資材の検討が行われました。園で使う備品については、できるだけ現在使っているものをそのまま使う方向で検討されています。

高梁南幼稚園は高梁幼稚園へ先行的に統合を行いました。令和7年のこども園完成まで高梁幼稚園・高梁保育園を運営していく予定です。



主な変更点

- ① 環境に配慮した施設とするためZEB Ready(CO₂削減50%)の省エネ水準とする。
- ② 建物2階から築山へのスロープを取りやめ。
- ③ 3歳児クラス3部屋のうち一部屋を「みんなの部屋」(特別支援の部屋)へ変更。
- ④ 延べ床面積の縮小、建築資材の変更等を行う予定。

当初(令和2年7月)の予定金額:

約18億円

現状での建築工事費(維持費):

33億2,800万円

有漢学園(義務教育学校)



主な変更点

- ① 当初、小学部・中学部にそれぞれ設置予定だった保健室を小・中で1室に変更
- ② 小学部の特別支援教室2室を広くし隣にシャワー室を設置
- ③ 図書準備室を図書室に拡張
- ④ 小学部校舎に新たに多目的教室を設置

議会全員協議会では、実施設計の契約金額が当初予定よりも27万5000円増の2854万5000円となることが報告されました。これは、義務教育学校の中学校校舎として使用する現有漢中学校校舎のアスベスト調査を実施するためです。

また、保健室を1つにするなど、現場の意見を聞きながら基本設計からの変更が行われました。

当初(令和2年11月 小学校部分)の予定金額:

約5億円

現状での建築工事費(維持費):

12億560万円

農業者や市民への 物価高騰対策 ■補正予算を審議

令和5年6月9日から 30 日までの
22 日間、令和5年第3回6月定例会
が開催されました。

今議会では、市長からは報告
6件と議案6件が提出され、議
案1件は承認し、5件は原案の
とおり可決しました。

報告の6件は、各会計におい
て本来ならば1会計年度の勘定
であるものを持ち越すことにつ
いて、なぜ繰り越すことになっ
たのかについての報告です。

また、追加で高梁市農業委員
会委員の任命についての議案1
件が提出され、これを同意しま
した。なお、請願が1件提出
されましたが、付託された市民
生活委員会が継続審査の先決動
議があり、委員会が全員一致で
継続審査の決定がなされたのを

受け、本会議でも継続審査とな
りました。

議案・追加議案については、
関係法令の改正に伴うもの、有
漢義務教育学校に関するもの、
高規格救急車の取得に関するも
の、そして追加議案を加えた4
議案については全員一致でした
が、3つの議案については各常
任委員会での審査を含め、色々
な角度からの審議があり、採決
においても賛成・反対が分かれ
ました。

以下、各常任委員会ごとに、
請願の審査も含め主だった議案
の審査内容を紹介します。

総務文教委員会 総務費国庫補助金の 使い道で議論

総務文教委員会が審査した案
件は議案5件であり、議案第54
号は賛成多数で承認、議案第
58号は賛成多数で可決、残りの
3件の議案は全員一致で可決し
ました。

議案第54号のうち専決第5号
「高梁市職員の特殊勤務手当に
関する条例の一部を改正する条
例の一部を改正する条例」では、
「新型コロナウイルスの5類移行
によって、国家公務員の特殊勤
務手当がなくなったから市職員
も国公準拠※で特殊勤務手当
をなくすのは、感染力が変わら
ないコロナウイルスに対して従
来通りの発熱外来の対応が行わ
れていることを考えると市とし
てそれはするべきではない。」
といった意見がありました。議
案第58号「令和5年度高梁市一
般会計補正予算（第3号）」で

は委員から「総務費国庫補助金
の使い道の中に、ベビーフアー
スト宣言をした事業者に対する
水道料金の減免が含まれている
が、それ自体に疑問がある。
また、浮いた一般財源は学校給
食費の軽減のために使ってほし
い。」という意見がありました。
執行部からは、「ベビーフアー
スト宣言をした高梁市にとっ
て、子どもを増やすために打つ
手は全て打つという考えである
ので理解してほしい。」との答
弁がありました。

産業経済委員会 物価高騰に対する 支援金内容を審査

産業経済委員会が審査した案
件は議案2件であり、いずれの
議案も全員一致で可決しまし
た。

議案第58号「令和5年度高梁
市一般会計補正予算（第3号）」
では農業者等物価高騰対策支援

※国公準拠：国家公務員の給与に準じること

金、畜産飼料高騰対策支援金、地域活性×梁(かけはし)商品券などの事業内容について詳細な質疑が行われました。委員からは「以前の農業者支援との違いは何か。プレミアム商品券の発売は考えなかったのか。」などの意見に執行部からは「農業者支援金は幅広く支援が行き渡るように3万円以上の売り上げがある農業者とした。プレミアム商品券は購入する際、原資となる現金を準備し、販売先を訪れる必要があることなど市民負担を勘案した結果、市民全員に直接配布する×梁(かけはし)商品券にさせてもらった。」との答弁がありました。議案第59号「令和5年度高梁市水道事業特別会計補正予算(第1号)」では総務文教委員会に続き、委員からはベビーファースト宣言と水道料金の減免の関係性、基本料金を減免とした経緯などについて詳細な質疑が行われました。

市民生活委員会 国保税の改正と 請願1件を審査

市民生活委員会で審査した案件は議案1件と請願1件であり、議案1件は全員一致で承認、請願1件は全員一致で継続審査すべきものと決しました。

請願第1号「心身障害者医療費助成制度の精神障がい者への適用に関する高梁市の単独での実施についての請願」の審査にあたっては、請願者からの意見陳述を受けて慎重な審議が行われました。委員からは「岡山県議会においても他の団体から提出された同様の陳情が採択されてはいるが、2年を経過しても予算化の動きがなく、対象者についても市町村によって異なっており、まだ研究を重ねる必要性があるので継続審査とした。」と申し出がありました。全員一致で継続審査すべきものと決しました。

討 論

反対討論

石部 誠 議員

専決処分のうち高梁市職員の特殊勤務手当に関する条例改正は、感染防疫作業等に従事する職員に支給されていた手当を取りやめる改正である。コロナの感染状況が正確には把握できず、医療や福祉現場の感染予防対策は今までと同様に行われており、支給停止は時期尚早と考え反対する。

納税している事業者が、日本青年会議所のベビーファースト宣言に参加すれば、水道基本料金が半年間減免される計画が各補正予算に含まれている。高梁市が個別の民間団体の運動に参加を求めることは、市民の良心の自由に抵触する。民間団体の運動拡大に、市民の大切な税金が投入される。納税を行つた業者への支援だけでなく、物価高騰で困っている事業者全体の水道料金の軽減施策にすべきであると考え、反対する。

6月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議案番号	件 名	金尾	新倉	平松	伊藤	森上	森	石井	三村	石部	宮田好	小林	川上修	倉野	川上博	宮田公	大月
議案第54号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和5年度高梁市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	令和5年度高梁市水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。



議会 ニュース



3年半ぶりに
復活!

議会報告会を 2会場で開催しました

新型コロナウイルス感染症予防のために中断していた議会報告会を、3年半ぶりに再開しました。議会報告会は、「高梁市議会基本条例」に基づいて、開かれた議会を目指した活動です。

以前は、市内の各町内を小学校単位で回るといふ形でしたが、中断前には市内の団体に声をかけ、意見交換を行うという新しい形を模索していました。今回はそれを踏襲し、宇治町と高梁北コミュニティを訪問して

の報告会となりました。

5月31日の宇治地域市民センターでの報告会には21人の方を前に、5名の議員が3月議会の報告を行うとともに、事前にいただいた質問に答えました。7月9日には、内山下にある高梁北コミュニティハウスでは、13人の方に対して、6月議会の報告を行いました。

両会場とも、人口減少や少子化、定住などが話題に上がりました。また、市役所の職員が



宇治会場での議会報告会

市外から通勤していることについて、さまざまな事情で引越すことがあるにせよ、新規採用されたばかりの時にはできるだけ市内に居住するよう促すべきだという意見がありました。市道に張り出した枝を切るための手続きや、公園内にある電灯の管理についてなど、地域の課題については、今後議会内でも話し合い、執行部に改善を求めていく旨を説明しました。今回は、準備不足もあり、期間をあけて2会場での開催しかできませんでした。議会と話をしてみたいという団体がありましたら、下段の応募要項からご連絡ください。

議会報告会の参加団体を募集しています

議会報告会は、議案等の審議経過や結果を市民に報告するとともに、市政の課題について市民の皆さんと意見交換することを目的に開催してきました。次回開催に向けて参加団体を募集していますので、お気軽にご相談してください。

対象

高梁市内に所在し活動する団体など

応募方法

申込書に記入して議会事務局に提出してください。申込書は議会事務局に備えてあるほか、ホームページからもダウンロードできます。「高梁市議会議員意見交換会」で検索してください。

・場所及び開催時期は、お申し込みの団体と協議の上、決定します。
・公平性の確保のため、同一団体との開催は年1回とさせていただきます。

お問い合わせ

議会事務局

☎(0866) 21・0277

申込書ダウンロード URL

<https://www.city.takahashi.lg.jp/site/gikai/gikaihoukokukai31-11.html>

議会のあり方検討特別委員会
管外行政視察
井原市議会の委員会構成など

高梁市議会は、来年10月の改選から議員定数が削減され16議席になります。現在は18人の議員定数で、常任委員会は総務文教・産業経済・市民生活と3委員会に6人ずつで配置され活動しているが、改選後の議会運営について研究するため、2委員会制を採用している井原市議会を訪れました。

井原市議会の説明では、議員減により3委員会を維持すれば、単委員会で欠員や欠席者が出たら審査が不十分になる。少数意見が委員会の意見となるなどの問題が散見されました。

2委員会制になれば、所管する部課の見直しが必要となります。また委員会への参加職員が増加し入れ替えが必要となります。

1人の議員が複数委員会に所属する方法もありましたが、議員の専門性や意識の集中に問題が出るとの意見から見送られたとのことでした。

予算決算委員会は全議員参加で2日かけて行われます。議会運営委員会の議案説明には、各会派の代表が出席し、無所属の人は無所属会派として代表を立てて参加し他議員に説明を行っています。執行部からの議案説明は、詳細な議案説明書が議会に提出されるので行わないとのことでした。



井原市議会を訪問し、議会改革について質問

産業経済委員会管内行政視察
建設中のバイオマス発電所と
休業中のラ・フォーレ吹屋

5月11日に、旧「ゆ・ら・ら」に建設中の高梁バイオマス発電所の工事進捗状況確認と、ラ・フォーレ吹屋と吹屋地区の現状について視察を行いました。

高梁バイオマス発電所は、令和6年3月に発電を開始する予定です。最大発電規模は1時間当たり1995キロワットを想定しています。発電には1日約90トンの木質チップが必要で、市内だけでなく、市外からの間伐材等の搬入を想定しています。ボイラー等プラント工事は現在建設中で年内に完成予定。高梁グリーンパークは、旧「ゆ・ら・ら」建屋を活用し産直市場レストランエリア、教育エリアになる予定です。事業全体で約50名の雇用を見込んでいます。

ラ・フォーレ吹屋は、令和5年

度から下電ホテル（倉敷市）を代表とする共同企業体が指定管理者として運営を引き継ぎ、4月の再開を予定していました。が、スタッフ確保や施設の修繕等に想定以上の時間を要したため、再開に至っていない現状を確認しました。



旧「ゆ・ら・ら」跡地に建設中の木質バイオマス発電所



改修が終了したラ・フォーレ吹屋の厨房を視察

「高梁市議会議員政治倫理条例」を検討しています

議員辞職勧告決議案を 13名の議員で可決

令和3年7月15日から20日の間、本人所有の畑で狩猟や有害鳥獣駆除以外の目的で、4回にわたりライフル銃で実弾約30発を発射したとして、令和4年1月に岡山県警が銃刀法違反及び火薬類取締法違反で書類送検し、同年6月に岡山地検が川上修一議員を在宅起訴しました。議員の大半は、この事実を令和4年10月の山陽新聞の報道により初めて認識しました。

この事実を受け、議会運営委員会、議員全員協議会で対応が話し合われ、早急に何らかの対応をすべきとの意見や、裁判の中で事実と異なる点があるとして争うとの川上修一議員の意志を考慮し、係争中の事案として慎重に扱うべきとの意見も出され、判決を待つこととしました。

た。その後、令和5年3月28日の岡山地裁の罰金50万円の有罪判決をもって、川上修一議員に対する議員辞職勧告決議案を提出することとしました。

令和5年5月23日第2回高梁市議会（臨時）において、議員発議の川上修一議員に対する議員辞職勧告決議案が提出され、原案のとおり可決されました。採決の経緯は本人を除く出席議員16名で、採決直前に川上修一議員所属の会派「高梁政志会」の議員2名が退席し、残る出席議員のうち議長を除く全員一致で決議案は採択されました。

またこの度の事件に関する裁判は、被告である川上修一議員から1審の裁判において事実の誤認があるとのこと、上級審への上告がなされておりますが、議会としては1審の判決を重く見て川上修一議員に対する決議となりました。

高梁市議会でも 「議員政治倫理条例」を検討

高梁市における議員の政治倫理については、平成24年6月（令和元年6月改正）に制定した高梁市議会基本条例第15条で「議員は、市民全体の代表者として、その倫理性を常に自覚し、良心と責任感を持って、議員の品位を保持し、識見を養うように努めなければならない。」と定めています。高梁市にはこれまでに議員政治倫理条例がありませんでした。しかし、岡山県では15市中13市で定められており、本市でも制定に向けての議論が始まりました。

現在議会運営委員会では、他市の条例を参考にしながら、議会基本条例の条文をより明確にする形での政治倫理条例を検討しています

6月22日の議会全員協議会で

は、「高梁市議会議員政治倫理条例（案）」を示しました。議員からは、他市の条例も検討する必要がある。もう少し具体的に示したらどうか。要所で議会全員協議会を開き意思疎通を図るべき。などの意見が出されました。

これを受けて6月30日の議会全員協議会では、他市の条例を全議員に示し、各議員から意見を提出してもらうことにしました。今後は集約したうえで検討を進め、条例の制定を目指します。



一般質問 **ココ** を聞きました！

【代表質問】

高梁政志会
倉野嗣雄

- ・本市の人口減少問題について
- ・定住対策について
- ・行財政改革について
- ・本市の情報発信について
- ・森林環境譲与税について

石井聡美

- ・学校教育について
- ・観光について
- ・高梁市DX推進計画について

金尾恭士

- ・観光施策について
- ・教育施策について
- ・個別避難計画について
- ・町内会の集会所について
- ・活力ある農業振興について
- ・少子高齢化と財政と高梁市の持続可能な展望について
- ・市職員の倫理規定について

石部 誠

- ・開業できない状況が続く、ラ・フォーレ吹屋について
- ・移住・定住対策について
- ・公的施設へのWi-Fi設置を求める

新倉 淳

- ・本市の子育て支援について

平松久幸

- ・小・中学校のトイレの今後について
- ・高梁市のICT教育について
- ・保育園留学について
- ・阿部地区へのグリーンスローモビリティ運行について
- ・人材育成について
- ・キャンプ場の利用について

川上博司

- ・熱中症対策について
- ・鳥獣被害対策について

森上昌生

- ・野良猫対策について
- ・観光施策について

川上修一

- ・定住対策について
- ・県道新見川上線について

小林重樹

- ・市民への福祉施策と今後の取り組むべき課題について
- ・人口減少問題について

伊藤泰樹

- ・市内県立高校の2校存続に向けた取組について
- ・文化財について
- ・高梁市国民健康保険成羽病院について
- ・職員採用と就業状況について
- ・選挙について

森 和之

- ・高梁認定こども園整備に伴う跡地利用について
- ・ポストコロナの観光施策について
- ・市内でのイベントについて
- ・鉄道撮影者について
- ・新型コロナワクチン接種について



高梁市議会

YouTube 公式チャンネル

配信中！

高梁市議会 Youtube チャンネルで、過去の一般質問を見ることができます。各議員の QR コードからは、それぞれの議員の一般質問を見ることができます。ぜひご活用のため、チャンネル登録をお願いします！



しっかりとした人口減少対策を



高梁政志会 代表質問

倉野 嗣雄 議員

本市の人口問題について

倉野 市の人口減少をどのように捉えているのか。

市長 国立社会保障・人口問題研究所の推計値より200人ほど早めの減少となっている。大変大きな問題であると考えている。日中、高梁市へ来る人は一日当たり約4500人で、出ていく人は約2300人。その差の約2200人をターゲットに企業などへお願いして、高梁市に住んでほしいと協力を求めている。

市の定住対策について

倉野 本市の定住施策は、どのような内容があるのか。

市長 空き家バンクの成約数では県下で一番であるが、物件が不足の状況で、掘り起こしに力を入れ

る。また本年度からオーダーメイド住宅も始めた。子育て支援は、保育園留学や、おしめの無料化など、ベビーファースト宣言の市として進める。

行政改革について

倉野 第4次行財政改革は具体的な数値を市民に示すべきでは。

市長 数値による目標の設定は、非常に大切なことだと考えており、具体的な数値をもって議会に説明し、市民にも理解を求めている。

情報の発信について

倉野 高梁市の情報の発信は十分ではないと思うが、どのように行っているのか。

市長 思いは同じで、十分メディアを活用したい。

学校配置の見直しについて 具体的な計画を



石井 聡美 議員

急激な少子化に対応した 学校再編の在り方は

石井 学校再編について、現在の基準をどう見直すのか。

教育長 前回の学校再編基準を決めた時の想定を超える急激な人口減少により、前倒しをしようとする必要がある。今年度中に委員会を立ち上げ、今年度末までに答えをいただく形にしたいと考えている。

石井 その委員会では、今後の学校再編について方向性を出すのか。

教育長 何年までをめぐに、どこかの学校をどうするという具体的な答申が出てくる可能性が高いと考えている。将来を見据えてこうあるべきということに早く着手できるように提案をしていきたい。

ウォーカブルシテを見据えた 街の在り方を検討すべき

石井 高梁市は国土交通省のウォーカブル推進都市(※)に参加しているが、何か具体的なアクションを起こしているのか。

政策監 現在明確な計画はなく、推進都市について情報収集に努めているところである。

石井 ゾーン20のような具体的な規制が必要ではないか。

政策監 高齢化社会で車が必須なので、慎重な検討が必要だと考えている。官民が保有する既存のスペースなどを利用して、歩きやすく歩いて楽しい街の形成を図っていききたい。

※ウォーカブル推進都市：居心地がよく歩きたくなるまちなかの形成を目指す都市

観光施策が高梁市に起死回生の起爆剤となるのか

金尾 恭士 議員



高梁市観光協会がDMOに登録
高梁市の観光への寄与は

金尾 観光庁が重要視しているKPI(重要業績評価指標)「旅行消費額」「延べ人数」「来訪者満足度」「リピーター率」の4項目が高梁市は不十分。データ不足では観光施策もできないのではないかと。 **産業経済部長** 観光協会と協力して、計画の見直しをしていきたい。 **金尾** 観光協会が観光庁に提出した「法人確立計画」によれば、2023年「川の駅」「備中松山城へのモノレール敷設」とある。荒唐無稽ではないか。 **産業経済部長** 観光協会が現状を踏まえ今後の方針に即した計画に改定していくと認識している。 **金尾** 実態がかけ離れているのならDMOの取り消しもあるんじゃない。

産業経済部長 地域住民を巻き込むことを、観光協会に期待する。市としても助言を行っていききたい。

教育施策について

金尾 チャットGPTに代表される生成AIを、安易に使うことの危険性を感じる。教育の面では、安易に使用するのはなく、利用制限をかけることも考えなければならぬと考えるが、どうか。 **教育長** さまざま問題点が上がっている。契約は13歳以上、18歳未満は保護者の許可が必要とのこと。子どもたちは近い将来、生成AIに触れていくことになる。使わない指導ではなく、使う前提に立った視点が必要。夏頃に出る文部科学省のガイドラインを踏まえて対応していきたい。

いい加減な事業計画により「ラ・フォーレ吹屋」が開業できていない

石部 誠 議員



指定管理の選定と責任は

石部 新しい指定管理先として下電ホテルを代表とする企業体を選んだ選定理由は。

産業経済部長 総合的判断と経営の安定性です。

石部 10月に前指定管理者と競い合った結果選ばれたわけであるが、予定通り4月開業ができていない。本来事業計画は、建物や経営状況を確認して出されるものだが、この事業計画は無理があったのではないかと。

産業経済部長 4月の開業を目指していたが詳細な打ち合わせを繰り返す中でいろいろな不具合が出てきたのが遅れた理由で、その責任は市と指定管理者の双方にあると認識している。

石部 前指定管理者は令和2年の更新時に、空調システムやト

イレの改修など要望しているが、改修できていない。今まで現場を訪れ確認されていないことが問題ではないか。

産業経済部長 財政措置のこともあり計画的な改修を予定しており前指定管理者には、その旨回答している。

前指定管理者の倒産で市内業者に二次被害責任の所在は

石部 前指定管理者が倒産したが、想定していたか。前指定管理者が倒産することにより、取引業者が多額の未収金を抱える事案が発生している。高梁市の責任と今後の対応は。

市長 倒産は想定外。指定管理者と市は善良な管理の下で管理施設を管理するのが前提である。

本市の子育て支援事業について

令和4年の本市の出生者
89人について

新倉 令和4年に89人の出生者をどのように考えているのか。

市長 想像以上に生まれる子どもの数が少なかったというのが正直なところである。これからの新しい時代の中でどのように育てていくかが大事なことであり、同時に、喫緊の対策として、その根本の原因がどこにあるのかをしっかりとつかんで対応していく必要があると認識している。

おむつ支援事業について

新倉 出産・子育て応援事業（おむつ支援事業）の内容と実施状況を問う。

教育次長 おむつ支援事業は本市のベビーファーストの取り組みの



新倉 淳
議員

一つとして、園においておむつを提供することにより保護者の経済的負担や手間の軽減、保育士等の業務の負担の軽減を図るものであり、未就園児等には、月額1000円〜2000円を支給するものです。

新倉 諸物価高騰でおむつも値上がりが見込まれますが、どのように対応するのか。

教育次長 今後の物価高騰に対しては、保育所等のおむつは補正予算で対応したい。未就園児については必要に応じて補助単価の見直しが必要と考える。

新倉 まだまだ高騰するかもしれない。十分な対応をお願いする。

学校のICT導入の成果を問う

高梁市のICT教育はどの程度進んでいるのか

平松 高梁市のICT教育はどの程度進み、その効果はどうか。

教育長 「学校情報化認定優良校」に選ばれた学校が、県内では一番多い。個々人の進路や学習スタイルに合わせた学習ができるようになった。今まで自分の意見を言えなかった子供らが、積極的に発言できるようになるなど効果も上がっている。

平松 オンラインでつながる事例として、他校との交流や社会見学などの取り組みは。

教育長 市内外の小中学校と高校との交流。また国内外では平和学



平松 久幸
議員

習やケニアの国連職員とつながり、また自動車工場や漁港とつながることもできた。

平松 登校困難や不登校への対応はできているのか。

教育長 タブレットの家庭への持ち帰りにより、不登校の児童や生徒から希望があった場合、教科の授業をリアルタイムに配信し授業を受けることができる。

若い職員の離職対策は

平松 市職員の人材育成は急務ではないか。

総務部長 4月の機構改革により総務課人材育成係を設置し、感動担当職員を配置した。職員研修と人事評価制度で人材育成していきたい。

高齢者の熱中症対策を強力に 推進すべきではないか

熱中症対策について

川上 消防庁の調査によると、熱中症による救急搬送者の約5割が高齢者となっている。高齢者の熱中症を予防していくためには、介護や保健部門の関係者が一体となって、対策を的確に進める必要がある。高齢者の皆様への効果的な熱中症予防を強力に推進すべきではないか。

健康福祉部長 高齢者の皆様は、もともと体の水分が少なく、温度に対する感覚が弱くなっている。老人クラブやミニデイサービスの現場や家族の訪問の際に積極的に啓発をし注意喚起を行っている。その内容は熱中症のメカニズムの説明と1日に必要な水分量や予防対策の必要性を訴えるものとなる。

川上 博司 議員



市街地の 鳥獣被害対策について

川上 最近、イノシシが市街地に出没することが多くなった。市街地出沒対策について、庁内体制、注意喚起の広報、情報収集、危険度評価などどのように行っていくのか。

産業経済部長 野生動物が市街地へ出沒し市民から農林課へ一報が入ると職員が現地確認して学校関係と町内会、警察、岡山県へ連絡する。合わせて防災メール、防災ラジオにて注意喚起を行っている。また目撃者や町内会の方から情報収集しており、危険度の評価は今のところ行っていない。

高梁市の野良猫施策を問う

野良猫対策について

森上 先ほど平松議員の質問の中でドッグランうんぬんというような質問があつたんですけども、今後高梁市にドッグランを造つたらどうかという話に市長はすぐに反応していただいたんですけども、それはそれでいいことだと思います。しかし、猫に関しては6年半ずっと言い続けてきても、市長は全く反応してくれませんか。少しは反応してもらってもいいんじゃないんでしょうか。市長、どういふふうにお考えでしょうか。

市長 反応しないわけじゃなくて、アンケートを取ろうというのが一つ前進だと思います。実際どのように皆さんが感じておられるかということもあって、そしてまた一般的に餌をやらなくていいという看板も設置をしていただいているところでもあります。そういった内容のことでお困り事があるのか、どうしたらいいのかということについて何らかの根拠となるものが必要であるということもありましたので、今回アンケートを取らせていただいたところでございます。

森上 昌生 議員



「雨量による通行止」は、市民生活に影響があり対策を

川上 修一 議員



懸案の県道新見川上線
抜本的対策を

川上 県道新見川上線について、現在の状況は。

土木部長 この路線は重要路線であり、県と連携を図りながら進めている。用地の問題で調整協議を行っている。一日も早く整えたい。

川上 新見川上線の時間雨量の増加による通行止めは市民生活に大きな影響がある。早急な道路整備を求め、通行止め対策を求める。

土木部長 通行止めの区間である田原から布賀駐在所前までについては工事を行っていない。今後は危険箇所から順次整備を県に要望していきたい。

川上 富家地区における平成30年7月豪雨災害により発生した危険箇所の対策は。

土木部長 富家地区の堤防の問題や浸水の問題について県と地元で現地確認をしている。状況把握に努め内水対策も努めていきたい。

農村地域の移住定住対策は

川上 定住対策に特化した政策監に期待するが、我々のような地域における対策をどのように考えられているか。

政策監 川上地域、備中地域が立地条件を生かして、ぶどう、トマトの産地を形成していることは地域の強み。新規就農者の確保を通じて産地の維持拡大と移住定住の推進を図っていきたい。

川上 少子高齢化と物価高で地域は困っているが、対策は。

市長 農業は基幹産業である。移住定住については、全国から注目される取り組みを行いたい。

定住促進施策について

小林 重樹 議員



空き家対策について

小林 空き家バンクの現状はどうなっているのか。

政策監 平成19年度から運営を始めて、令和4年度までの累計では空き家バンク登録数は524件、成約件数は387件と県下トップの登録数と成約数を維持している。令和4年度は登録数86件、成約数は39件、26世帯63人の定住効果につながった。

小林 希望する空き家にお試し滞在はできないか。移住を考え、市内を訪ねる人に対する補助はないか。

政策監 希望する物件に滞在することはできないが、高梁市への移住を考えている人には、生活体験として高梁市での宿泊料金やレンタカーの料金を助成するお試し暮らし補助金を設けている。他自治

体では地域ぐるみで地域の空き家を借り受けて、お試し住宅を運営している事例もあるので、現在市が空き家をサブリース、賃貸、もしくは購入して活用するといった考えはないが、今後研究検討していきたい。

オーダーメイド住宅の
今後の計画について

小林 オーダーメイド住宅の申し込み資格に市内の住民は加えられないか。

土木部長 住宅の在り方について、市営住宅としての位置づけと、定住目的というものをある程度明確にする必要性がある。住宅に対する補助金や定住に対する補助金というものは準備しているが、それだけでは難しい部分もあると思う。今後、可能な限りできるような形で検討していきたい。

早急な整形外科の常設化を

伊藤 泰樹 議員



市内県立高校の
2校存続に向けた
取組みについて

伊藤 市内生徒が減少する中、市外生徒の獲得に向けて特別な取り組みが必要ではないか。

教育長 通学費の補助について対象者や交通機関をどういう範囲にするのか。さらにどういう補助の方法にするのか。総合的に勘案して研究している。

文化財について

伊藤 夫婦岩の文化財としての価値についての見識は。

教育長 地元からの要望を受け現在文化財の指定に向け検討を始めるところである。

高梁市国民健康保険
成羽病院について

伊藤 整形外科の常設化ができないか。

病院事務長 整形外科の課題は認識しており、診療日の増設や常勤化に向け各方面に働きかけているが、医師確保には至っていない状況である。

職員採用と
就業状況について

伊藤 本年度新規採用者のうち市内に居住していないのは何人か。

総務部長 22人中11人だが、いずれの職員も一定期間後は市内に引越すと聞いている。

選挙について

伊藤 市内大型商業施設での実施を検討すべきではないか。

市民生活部長 今後に向けて研究を行っていききたい。

子育て世代のための 公園や施設整備を

森 和之 議員



高梁認定こども園整備に
伴う跡地利用について

森 高梁南幼稚園跡地に設置されたバスケットゴールについて経緯を踏まえた説明を願う。

教育次長 バスケットボールの活動団体や愛好家の皆様から要望をいただいたり、森議員から以前の議会で提案を受けていた。跡地利用の方針が決定するまでの臨時的な設置だが、早期に実現できる取り組みとしてゴール2基を設置し、ハーフコートのラインを整備した。

森 スケートボードのパークを隣接したストリートスポーツの施設整備を望むのがどうか。

教育次長 以前から提案を頂いている施設の整備は既存の施設をできれば活用する前提として最小の

経費で研究、検討していく。

ポストコロナの
観光施策について

森 ヨーロッパ圏の旅行者は訪問先の自然、伝統、文化に触れて背景にある歴史や哲学などの理解を深める傾向がある。ヨーロッパ圏をターゲットにする観光施策は必要ではないか。

市長 必要だと考えているが、準備がまだまだ不足していると認識している。

森 古民家再生で宿泊施設の充実を図るべきではないか。

市長 民間の力を借りなければいけないと考えている。物件の提供や周辺整備には行政として力を入れていきたいと考えている。

9月の定例会スケジュール

9/8	金	本会議（議案の上程）
14	木	本会議（一般質問）
15	金	本会議（一般質問）
19	火	本会議（一般質問）
21	木	本会議（議案質疑）
22	金	委員会
25	月	委員会
26	火	委員会
29	金	本会議（採決）

※9月議会への請願・陳情の締め切りは8月31日(木)までです。
※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

- | | | | | | | | |
|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-------------|
| 委員長 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 議会広報公聴特別委員会 |
| 森和之 | 石部誠 | 石井聡美 | 森昌生 | 伊藤泰樹 | 新倉淳 | 平松久幸 | |

新 高梁人名録

かつらぎ ゆき
葛城ユキさん
(1949～2022)



「『ボヘミアン 破れかけの タロツト 投げて・・・』」
迫力ある歌唱力とハスキーボイスで日本中を席巻した葛城ユキさんは高梁市川上町出身。多くの人々に惜しまれながら2022年6月27日、享年73歳で逝去されました。
本名は田中小夜子。1949年5月25日田中理髪店の二男三女の末っ子として生を受けました。幼少の時から活発で、歌や芝居が好き。町に旅芝居の一行が来ると前座でミカン箱の上に立ち流行歌を披露していました。
中学校ではバレエ部に所属しキャプテンとしてチームをまとめ県大会に出場、「手荘中に田中あり」と言われました。バレエの名門倉敷市の片山女子高校(現翠松高校)に進学し、ここでも持ち前の負けん気をいかんなく発揮。チームの中心選手として国体やインターハイで活躍していました。卒業

後は実業団の強豪チーム、倉紡倉敷に入社しますが、身長167cmでバレエボール選手としては小柄であったため監督からセッター転向を告げられました。これに反発し退団した後、親戚を頼り大阪に出て、子どもの頃から好きだった歌手の道へと進むことになりました。
苦労を重ね、4度目の芸名が葛城ユキの時「ボヘミアン」(作詞・飛鳥涼 作曲・井上忠夫)が大ヒットし、その年の紅白歌合戦に出場しました。
芸能活動も多忙の中、毎年5月に行われる川上町の「弥高つつじ祭り」に帰省しコンサートを行っていました。ふるさとをこよなく愛する人でした。2012年には「備中高梁伝えたいしー」に委嘱され、ふるさと高梁を全国にPRしました。
「私は歌うために生まれてきた」が彼女の口癖でした。

今号の表紙

方谷學舎高等学校

令和5年、高梁市に方谷學舎高等学校が誕生しました。人格教育を通して、現代の教育に方谷の理念『知行合一』を具現化していきます。その核となるのは『文武不岐』の野球部員たち。品格教育を牽引する生徒たちとして期待しています。



あとかき

連日30℃を越える本格的な夏がいよいよ到来し、電気代を心配しつつも、ついついエアコンのスイッチを入れてしまっています。この時期に重宝するのが氷枕。いつも複数で冷凍庫に常備しています。

小型のファンで風を送り込むことで体を冷やす空冷ベストはいまや外仕事の必需品ですが、最近では水冷やパルチエ素子で体を冷やすもの、ネックバンド式など多彩な冷房用の商品が登場しています。

ただ、リチウムイオンバッテリー式のもの、暑い場所に放置すると発火や爆発の可能性があり、扱いに注意が必要です。もし、ご家庭に古いリチウムイオンバッテリーがあるなら、放置せず、適切に処分することを勧めます。安全に気を付けて、暑い夏を乗り切りたいものです。

(石井聡美)

